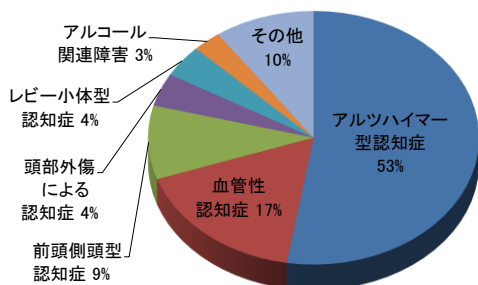


## 若年性認知症への支援の手

認知症は、一般的には高齢者に多い病気ですが、65歳未満で発症した場合は「若年性認知症」といいます。若年性認知症の初期症状として、物忘れの他に頭痛やめまい、不眠、不安感や自発性の低下、抑うつ状態が現れることがあり、うつ病や更年期障害などの他の病気に間違われ、治療が遅れることも少なくありません。

この若年性認知症について、地方独立行政法人東京都健康長寿医療センターにおいて実態調査をした結果が、7月に「[わが国の若年性認知症の有病率と有病者数](#)」として公表されました。この調査には、山形県内の医療機関や介護事業所、障害福祉サービス事業所、相談機関等にも御協力をいただきました。

公表された調査結果によると、2018年時点での日本における若年性認知症有病率は、人口10万人あたり50.9人、有病者数は3.57万人となりました。また、原因疾患別では脳の神経細胞が徐々に減って正常に働かなくなるアルツハイマー型認知症が最も多く、次



に血管性認知症、前頭側頭型認知症、頭部外傷による認知症、レビー小体型認知症／パーキンソン病による認知症、アルコール関連障害による認知症の順に多くなっています。



若年性認知症は男性の方が女性より発症する割合が多く、働き盛りで一家の家計を支えており、求職や退職によって経済的に困窮する可能性があります。調査結果においても、約6割の人は発症時点で就労していたものの、そのうち7割の人が退職していたとのことです。

このように、若年性認知症については高齢者とは違った支援が必要となり、山形県では、若年性認知症の方の自立支援のためのネットワーク調整を行う「[若年性認知症支援コーディネーター](#)」を配置しています。また、「[若年性認知症の人と支援者のためのガイドブック](#)」では、若年性認知症に関する基本や制度、県内の窓口等を紹介しています。

生活や介護についての困りごとは、若年性認知症コールセンターや認知症疾患医療センターへご相談ください。

- ★ コールセンター： ☎023-687-0387(さくらんぼカフェ内)
- ★ 認知症疾患医療センター：  
篠田総合病院 国立病院機構山形病院  
佐藤病院(南陽市) 新庄明和病院 日本海総合病院

### さくらんぼカフェより

さくらんぼカフェから旬の話題をお届けします！

### 新型コロナの影響は

秋風が吹いてきました。認知症カフェ運営者の皆様におかれましては、この継続した猛暑＋コロナ禍には辟易していることと思います。皆さまも悩みながら運営を再開し、あるいは再開すべきか悩んでいると思われ、電話相談でも、運営者からの相談も多くあります。その他電話相談は変わらず、来訪者もリピーターの方もいらして、暑さとコロナ禍であっても、「いつもの場所」として赴いてくれる人も多くいらっしゃいました。また、「スーパーの利用時に手指消毒忘れない」「どこさもないぐどがない」など、コロナの悩みを話していかれることも多く、これもまた「さくらんぼカフェ」らしいと思います。

各地での「つどい」や若年性認知症の人と家族のつどい「なのはな」も再開し、感染対策のもと、「行く所」「話せる場所」があるということの良さを、まさに実感する日々です。

#### 認知症カフェ開催時の感染対策ワンポイント

- 利用者同士の距離を十分に開ける。 ○ 飲食は個別包装したものやペットボトル(または提供しない。)
- 換気(1時間に1回程度、または開催時間を短くする。) ○ アルコール消毒(手・テーブル等)

## 「カフェらくせい」より

楽聖ケアプランセンター 介護支援専門員 古澤 潤 (山形市)

こんにちは。カフェらくせいを共催しております医療法人社団楽聖会こころのクリニック山形のケアマネージャー、古澤潤と申します。カフェらくせいは、主催の金井地区社会福祉協議会、共催の新江俣福祉懇談会、金井地域包括支援センターより、運営に対するご理解とご協力のもと、平成30年5月に、こころのクリニック山形内認知症デイケアで開始しました。内容は簡単な体操や歌などの活動を中心に、参加者の方々同士での認知症や体力低下の予防などに対する情報交換、共有の場としてお集まりいただいています。

また、会場のこころのクリニック山形ですが、医師や看護師、作業療法士や理学療法士、介護福祉士やケアマネージャーなどの専門職が在籍しています。これまでに、医師による認知症の講話や作業療法士、理学療法士による認知症や体力低下の予防に向けた講話や体操、介護福祉士やケアマネージャーによる介護相談などを通して、私たちスタッフも参加者の方々との親睦を深めてきました。その他、認知症当事者の方より、講話を頂く機会も設けさせていただきました。

しかし、昨今のコロナ禍において、今年の春から2~3ヶ月の開催休止を余儀なくされました。

休止期間中、主催者の方々と共に、定着してきたカフェの活動再開時期を検討の上、会場入室時の検温や手指消毒、マスクの着用や換気、参加者名簿を作成し活用するなどの感

染症対策を行い、7月から再開しました。

久しぶりにお集まりいただいた参加者の方々より、外へ出る機会が減って億劫にもなっていたが、皆と顔を合わせることができてうれしい、元気が出る、休止はこのような状況だからしょうがないと思うが、毎回楽しみに参加しており、今後の継続を期待しているなど、有難いお言葉を多数いただきました。

共催する立場としても、参加者の方々が当カフェを楽しみにされていること、活動や情報交換、共有の場が非常に大切であること、コロナ禍においても対策に万全を期して認知症カフェとしての役割を継続していかなければならないことを痛感しています。

今後とも、参加者の方々にとって身近な存在であり、気軽に集うことのできるカフェにしていくことができればと考えています。是非、一度ご来場ください。



(写真は休止前のものです)



## インフォメーション

ホットな話題をお届けします！

### 世界アルツハイマー月間 ~オレンジライトアップ~

「認知症にやさしい地域づくり」を進めていくために、認知症の人と家族の会山形県支部は、県内3つのランドマークへのライトアップを行います。

例年であれば、記念講演会や街頭活動などを実施していますが、今年はコロナ禍により、ライトアップを中心とした月間活動です。

今回のライトアップは、色んな思いや願い、感謝を込めています。認知症を正しく理解しようとする認知症カフェをはじめとした地域の多様な取り組みへの感謝、7月の大雨被害からの一日も早い復旧の願い、そして困難な状況の中、認知症の人たちの日々の暮らしを支えてくれている介護従事者への敬意と感謝を込めたものとなっています。9月21日のアルツハイマーデーをはさんでライトアップしますので、ぜひ御覧ください。

9月 1日 ~ 31日 旧米沢高等工業学校本館

9月 18日 ~ 24日 上山城、山形県郷土館「文翔館」

## カフエ情報

=情報交換会を行います=

- ★ 村山ブロック 10月14日(水)14:30~ さくらんぼカフェにて
- ★ 最上ブロック 10月15日(木)14:30~ 最上総合支庁にて
- ★ 庄内ブロック 11月4日(水)14:30~ 庄内総合支庁にて
- ★ 置賜ブロック 11月6日(金)14:30~ 置賜総合支庁 西置賜地域振興局にて

詳細案内を同封しますので、皆様のご参加をお待ちしております。



発行元：山形県認知症相談・交流拠点さくらんぼカフェ 山形県認知症コールセンター(山形市 県小白川庁舎内)  
 電話・来所相談・カフェオープン 月曜~金曜日 昼12時~午後4時  
 TEL 023-687-0387 FAX 023-687-0397 皆様のご意見・ご感想をお待ちしております。